

## 第3回 北九州市新型インフルエンザ等対策行動計画の

### 見直しに関する有識者会議

#### (議事概要)

1 開催日時 令和8年2月19日(木) 19:00 - 20:00

2 開催場所 北九州市保健所 6階 61会議室

3 出席者 【構成員】

石井構成員(座長代理)、市川構成員、伊藤構成員、植木構成員、内田構成員、浦部構成員、紺谷構成員、迫田構成員、鈴木構成員、中西構成員、丸木構成員、山下構成員、山本構成員

【事務局】

(保健福祉局)

保健福祉局長、医務監、保健所長、健康医療部長、保健衛生部長、保健所担当部長、保健環境研究所長、健康危機管理課長、保健企画課長、感染症対策担当課長 ほか

(消防局)

救急課長

4 議事次第 北九州市新型インフルエンザ等対策行動計画(改定案)について

5 議事概要

【座長代理】

- 座長が本日、ご都合がつかないため、僭越ながらご指名を賜った。
- これ以降の進行をさせていただく。

【事務局】

- 資料1、2について事務局より説明。

※資料1「第2回有識者会議で頂いたご意見と対応について」、資料2「パブリックコメントで頂いたご意見と対応について」

【座長代理】

- 事務局より「北九州市新型インフルエンザ等対策行動計画(改定案)」について説明があった。
- 構成員の皆様からご意見のほか、本日最終回でもあるため、これまでのご感想のほか、各団体でのそれぞれの取組がございましたら、ご紹介いただきたい。

#### 【構成員】

- 人に感染する病気として一番怖いのは狂犬病である。このワクチンの接種率を70～80%維持して人への感染を防ぐことに取り組んでいる。
- パブリックコメントや第2回会議での意見の反映については、この程度記載を盛り込んでいけば、問題ないと考えている。

#### 【構成員】

- 行動計画の初動からスタートするものが多くある。物品は準備すればよいが、システムなどは構築しないと動けない。
- 行動計画の記載について、その到達時期はいつ頃を目指すのか。そのあたりのイメージがないと、新しい感染症が来てしまい、動けなくなるのではないかと。

#### 【事務局】

- 計画内の記載について、ある程度取組が既にできているものもあれば、これからのものもある。
- 平時の準備についてはできるだけ取り組めるものは取り組んでいきたい。
- なお、計画全体としてはおおむね6年程度で見直しをする旨を国が示している。

#### 【構成員】

- 今回の計画では、時期区分を3つの期に分けており、平時にどれだけ準備ができるのかが重要なポイントである。
- 人についても、物品についても、情報共有の体制をどれだけ平時に構築できるかが大事。
- 医薬品の安定供給についても国のガイドラインに準じて、取り組みたい。

#### 【構成員】

- 1年後、5年後までにどうするかといったことを具体的に決める必要があると思う。
- 情報共有について、DX化などの理想的な形はあると思うが、現段階では「この程度しかできないからこのやり方をするが、最終的にはどこにもっていく」とか、そういったものを決めておくことが大事と思う。
- また常に新しい感染症も発生するため、検査等の迅速性は確実に訓練しておくことが大事である。

#### 【構成員】

- 行動計画は国が決め、県が決め、市が決めという形なので難しいところもあったと思うが、うまくまとめていただいていると思う。
- 平時からできること、そして感染症が実際に起きてからできることは異なると思うので、情報共有等を推進していくことが大事である。
- また、新型インフルエンザといっても、病原性も大変なものもあり、うまく段階分けをして準備を進めることが重要と思う。

#### 【構成員】

- 水際対策についても記載されているが、水際での漏れというものもある。
- 外国の方々在国内にもたくさんおられるので、適切な情報提供やその方々の話す言語での対応など、そういった部分も準備をしておくことが望ましい。

#### 【構成員】

- 準備期において、感染症対策に関する学習会や勉強会などを思う。
- 感染管理の認定看護師もいるため、要請頂ければぜひ協力したい。

#### 【構成員】

- 施設ではマスク着用が日常化して久しい。コロナもインフルもあるため、感染症対策の日々がまだまだ続いていくと思う。
- とにかく情報共有を施設も行政もいち早くすることが大事である。
- また、研修会や勉強会を通じて職員への徹底を図っていきたい。

#### 【構成員】

- 団体でも感染対策の研修会を意識してやっているが、行政の実施する研修会等もあるため、そちらにも参加していきたい。

#### 【構成員】

- 施設の方は日常業務の中で参加が叶わないこともあるが、行政で実施している様々な研修・訓練は非常に重要と考えているため、ぜひ参加していきたい。

#### 【構成員】

- 改定の目的や留意事項に、基本的人権の尊重の趣旨を入れていただき、また、施策の実施にあたっては人権の制約は必要最小限であると書かれており、良かったと思う。
- 外国の方への情報提供や、マイノリティの方について正しい認識をもって行動していただくということが書かれている。この点について膨らませて記載しても良いのではないかとの感想を持った。

#### 【構成員】

- 水際対策について、訓練等を通じて、様々な想定をしながら取り組みたい。
- 市と協力して取り組んでいきたいと思っているので、よろしくお願いします。

#### 【座長代理】

- 国、県、市と三重構造の計画となっており、独自で何か取り組むということは難しいところもあろうかと思う。そうした中で、市としてできることをしっかりピックアップし、ブラッシュアップに努めていただきたい。
- こうした計画は作っておしまいということになりがちでもあるため、ダイジェスト版などを作成し、多くの人々の目に触れる形で対応してほしい。
- 本日の会議が最終回となっている。本日のご意見を踏まえたうえで、計画の見直しをするが、こちらについては事務局に一任ということにしたいと思う（構成員より異議なし）。
- 昨年9月から3回にわたって皆様のご意見を頂戴してきたが、非常に有意義な形で終わったと思う。
- 今後の進行は事務局にお返すする。

#### 【事務局】

- 事務局で作成した計画については、改めて皆様にお送りしたいと思う。
- 最後に保健福祉局長よりご挨拶をさせていただきます。

#### 【事務局】

- 昨年の9月から本日まで3回にわたり大変お忙しい中、夜間帯での会議にも関わらずご出席いただき、感謝する。
- それぞれのお立場、分野の幅広い視点から計画へのご意見を賜ることができた。
- 今回の改定は、新型コロナの経験を踏まえ、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けて、平時の準備や発生時の対応を抜本的に見直すものとなった。
- この会議での議論を通じて、本市における感染症対策の課題や取組にあたっての重要な視点、施策の方向性などが明確になり、今後の感染症危機への対応に不可欠な羅針盤となる計画をつくることができたと認識している。
- 次の感染症危機に向けては、平時からの備えが重要である。人材育成やDXなど、情報共有の仕組みづくり、外国人の方への対応など、しっかり取り組んでいく。
- 今後も引き続き本市の感染症対策へのご理解とご協力を賜るようお願い申し上げてご挨拶とさせていただきます。